

算命学中庸

【初年】 5 5 回目

5 5 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【天中殺論】 (1)

【初年】 5 5 回目 【天中殺論(1)】 01

□ ^{はじ}初めに

「天中殺は悪いこと」そのようにおもっている人が多いようですが、天中殺を「よいとか」「悪いとか」論ずることはできません。

年運天中殺（2年間）どなたにもあります。

大運天中殺（20年間）無い人もいます。

天中殺表

甲寅 51	甲辰 41	甲午 31	甲申 21	甲戌 11	甲子 1
乙卯 52	乙巳 42	乙未 32	乙酉 22	乙亥 12	乙丑 2
丙辰 53	丙午 43	丙申 33	丙戌 23	丙子 13	丙寅 3
丁巳 54	丁未 44	丁酉 34	丁亥 24	丁丑 14	丁卯 4
戊午 55	戊申 45	戊戌 35	戊子 25	戊寅 15	戊辰 5
己未 56	己酉 46	己亥 36	己丑 26	己卯 16	己巳 6
庚申 57	庚戌 47	庚子 37	庚寅 27	庚辰 17	庚午 7
辛酉 58	辛亥 48	辛丑 38	辛卯 28	辛巳 18	辛未 8
壬戌 59	壬子 49	壬寅 39	壬辰 29	壬午 19	壬申 9
癸亥 60	癸丑 50	癸卯 40	癸巳 30	癸未 20	癸酉 10
子丑	寅卯	辰巳	午未	申酉	戌亥
12・1	2・3	4・5	6・7	8・9	10・11
毎年12月と翌年の1月		2月と3月		4月と5月	
子丑天中殺		寅卯天中殺		辰巳天中殺	
		6月と7月		8月と9月	
		午未天中殺		申酉天中殺	
				10月と11月	
				戌亥天中殺	

宿命 (1) ドナルド・トランプ大統領 1946年6月14日

陰占宿命			陽占宿命 (人体図)			8歳運の順まわり 大運
日干支	月干支	年干支				
己	甲	丙	玉堂星	天印星		8 乙未
子 未	午	戌	龍高星	貫索星	鳳閣星	18 丙申
丑 丁		辛	天南星	牽牛星	天祿星	28 丁酉
天中殺 乙	己	丁				38 戊戌
己	丁	戊				48 己亥
						58 庚子
						68 辛丑
						78 壬寅
						88 癸卯

大運天中殺
調舒星中殺 58 庚子
鳳閣星中殺 68 辛丑

天中殺は陰占宿命の日干支「己未」からだします。

「天中殺」は後天運こうてんうんでまわってくる後天運天中殺こうてんうんてんちゅうさつがあります。

「後天運天中殺」こうてんうんてんちゅうさつのことを、通常つうじょうは「後天天中殺」こうてんてんちゅうさつとといいます。参考：通常〔ふつう〕

宿命(1)ドナルド・トランプ 宿命の天中殺としの年を考えます。

2020年「庚子」こうきんのねすいです。翌年2021年「辛丑」しんきんのうしどです。この2年間はトランプの「後天天中殺」になります。

☞ 2020年11月アメリカ合衆国大統領選挙では、共和党の現職大統領のドナルド・トランプが、民主党のジョー・バイデンに敗北しました。ドナルド・トランプ天中殺の年です。

「後天天中殺」こうてんてんちゅうさつ ①②③——必ずまわってきます。

① 12年間のなかで〔2年間〕天中殺がまわってきます。

② 1年間のなかで〔2ヶ月間〕天中殺がまわってきます。

③ 1ヶ月のなかにも〔数日〕すうじつ天中殺がまわってきます。

④ 「後天天中殺」のなかに『大運天中殺』たいうんてんちゅうさつという20年続く天中殺があります。

「大運天中殺」は（まわってくる人）と（こない人）がいます。

大運天中殺も〔よい〕〔悪い〕を論ずることはできません。

⑤「宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺^{ちゆうさつ}」という中殺があります。

宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺は（もっている人）（もっていない人）がいます。それぞれに特徴はありますが、〔よいとか〕〔悪いとか〕を論ずることはできません。

宿命（2）宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺の種類

宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺の種類

せいねんちゆうさつ
「生年中殺」

せいげつちゆうさつ
「生月中殺」

せいじつちゆうさつ
「生日中殺」

しゆくめい^{しゆくめい}にちゆうさつ
「宿命二中殺」

しゆくめい^{しゆくめい}さんちゆうさつ
「宿命三中殺（宿命全中殺）」

しゆくめい^{しゆくめい}ぜんちゆうさつ
（宿命全中殺）」

ごかんちゆうさつ
「互換中殺」

どういつちゆうさつ
「同一中殺」

そうごちゆうさつ
「相互中殺」

にちざちゆうさつ
「日座中殺」

宿命 (3) 美空ひばり

＊ 美空 ひばり 1937_(s12)-5-29 1989-6-24 [52 歳没]

日干支	月干支	年干支				大運
丙	乙	丁		石門星	天胡星	3 丙午
辰	巳	丑	鳳閣星	貫索星	調舒星	13 丁未
乙	戊	癸	天南星	玉堂星	天祿星	23 戊申
癸	庚	辛				33 己酉
戊	丙	己				43 庚戌
						53 辛亥

子
丑
天中殺

生年中殺範圍 実線内はすべて子丑天中殺

宿命 (4) 貴乃花・光司

＊ 貴乃花・光司 1972_(s47)-8-12 大運は9歳運の順まわり

日干支	月干支	年干支				大運
乙	戊	壬		玉堂星	天胡星	9 己酉
亥	申	子	石門星	司祿星	龍高星	19 庚戌
甲	戊	壬	天極星	司祿星	天報星	29 辛亥
壬	庚	癸				39 壬子
						49 癸丑
						59 甲寅

申
酉
天中殺

大運天中殺

生月中殺範圍 実線内はすべて申酉天中殺

☞ 個人の天中殺は「日干支」でわかります。

美空ひばりの日干支は「丙^{へい}辰^{かのたつど}」です。

天中殺表 で「丙辰 53」の干支をさがします。

貴乃花の日干支は「乙^{おつぼく}亥^{のいすい}」です。

天中殺表 で「乙亥 12」の干支をさがします。

☞ 後^{こう}天^{てん}運^{うん}でまわる「年^{ねん}天^{てん}中^{ちゅう}殺^{さつ}」は2年間まわってきます。

12年のなかで〔2年間〕まわるのを「年^{ねん}天^{てん}中^{ちゅう}殺^{さつ}」といいます。どなたにも必ずまわってきます。

〔たとえば〕 **宿命（6）2000(h12)-6-7 男性**

日干支は「丙申」ですから「辰巳天中殺」です。

2024-2-4 から 2026-2-3 まで、2年間の「年^{ねん}天^{てん}中^{ちゅう}殺^{さつ}」です。

陰占宿命				陽占宿命			大運
丙	壬	庚		禄存星	天南星		10 癸未
辰	申	午	辰	鳳閣星	調舒星	玉堂星	20 甲申
巳				天胡星	車騎星	天将星	30 乙酉

2024年（令6）2月4日からの干支「甲辰」

2025年（令7）2月3日からの干支「乙巳」

辰巳天中殺

2年間の年天中殺

大運に天中殺がまわってくれば、陰陽で 20 年間の

たいうんてんちゆうさつ

大運天中殺になります。大運天中殺は〔まわってくる人〕

と〔まわってこない人〕がいます。それは宿命によります。

☞ 天中殺が〔よいとか、悪いとか、論ずることはできません〕と書きました。

そうしますと、天中殺とはどういうことを意味するのか……それを理解していただくことが重要です。

陰占の世界は「その人物の運勢」を観ます。

天中殺がまわれれば、その人のうんせい運勢に関係してきます。

実際に天中殺の年としがくると、きび厳しい状況になる人もおられます。物事が成就する人もおられます。

天中殺は必要なことだと算命学は考えています。

万物には「たんじょう誕生（生）」と「しょうめつ消滅（死）」があります。

しよぎようむじょう

諸行無常が自然界の姿です。

てんたい

天体もそうであると考えています。

自然界の生物——人間も含まれますが、それらの生物に限ったことではなくて、会社などもおなじです。

参考：諸行無常〔常に変化生滅して、永久不変はものはない〕

会社の組織も——いつか“滅^{めつ}する”ときが来ます。
政府、あるいは国も、民族もおなじです。

天中殺がなければ、人類は、成り立たないと考えているのです。参考：滅する〔ほろびる。消えてなくなる〕

それは陰陽論で（＋）（－）（＋）（－）の陰陽の並び
において連続性が出てきます。と学びました。

私たちの呼吸が正常に働いているときは、昼も夜も、
規則正しく、整然と連続性を保っています。

生きるものがいれば、死ぬものもいて、連続性が保た
れているのが自然界です。

☞ どのような事象であっても、交互に並ぶと考えた
ときに、算命学でもちいる「六十干支^{ろくじゅうかんし}」にも陰陽が
あり、誕生と消滅が存在していると考えているのです。

「六十干支」のなかにも、誕生と消滅、陰陽の連続性
があります。

言葉を替えれば、誕生は整然^{たんじょう せいぜん}（連続性）、消滅^{しょうめつ ふせいぜん}は不整然
（不連続）ともいえるでしょう。

「誕生は整然」連続

「消滅は不整然」不連続

「六十干支^{ろくじゅうかんし}」のなかには「生と死」の理念^{りねん}が含まれているとしています。

そこで、古代の賢者^{けんじゃたち}達は六十干支のなかにおいて——
〔陰陽が整然と連続している部分〕と〔不整然で不連続になっている部分〕をさがしました。

この不整然な“ひずみ”の部分を「天中殺」と呼称^{こしょう}したのです。

参考：理念〔物事がどうあるべきかについての根本的は考え方〕。

〔絶対的実在を意味する言葉〕

参考：呼称〔名づけること〕

参考：ひずみ〔物体に外から力を加えたときに生じる形や体積の変化〕

〔のび・縮む・ねじれ・ゆがみなど〕

宿命（5）六十干支表

六十干支表

壬	子	49	庚	子	37	戊	子	25	丙	子	13	甲	子	1
癸	丑	50	辛	丑	38	己	丑	26	丁	丑	14	乙	丑	2
甲	寅	51	壬	寅	39	庚	寅	27	戊	寅	15	丙	寅	3
乙	卯	52	癸	卯	40	辛	卯	28	己	卯	16	丁	卯	4
丙	辰	53	甲	辰	41	壬	辰	29	庚	辰	17	戊	辰	5
丁	巳	54	乙	巳	42	癸	巳	30	辛	巳	18	己	巳	6
戊	午	55	丙	午	43	甲	午	31	壬	午	19	庚	午	7
己	未	56	丁	未	44	乙	未	32	癸	未	20	辛	未	8
庚	申	57	戊	申	45	丙	申	33	甲	申	21	壬	申	9
辛	酉	58	己	酉	46	丁	酉	34	乙	酉	22	癸	酉	10
壬	戌	59	庚	戌	47	戊	戌	35	丙	戌	23	甲	戌	11
癸	亥	60	辛	亥	48	己	亥	36	丁	亥	24	乙	亥	12
水 行			金 行			土 行			火 行			木 行		

「十干」は空間を分類したもの、〔十二支〕は時間を分類したものです。「十干＝空間」と（十二支＝時間）を同一基準に置くと、「十干を陽」（十二支を陰）に分けることができます。干支の組み合わせは「十干の陽」と（十二支の陽）がセットになります。

1 番初めの干支は「^{こうぼくのねすい}甲 子」です。十干は「甲木＝陽」で十二支は（子水＝陽）で1つの組み合わせになります。

2 番の干支は「乙^{おつ}丑^{ぼくのうしど}」です。

十干は「乙木＝陰」で、十二支は（丑土＝陰）でセットになりなっています。

六十干支の 1 番「甲^{こう}＝陽」と、2 番の「乙^{おつ}＝陰」は、対等であるとして、陽と陰で結びついてつくられています。

「甲」と「乙」の陽と陰は対等である

3 番「丙寅^{へいかのとらぼく}」という干支です。

十干「丙火＝陽」、十二支（寅木＝陽）でセットになっています。

4 番の「丁卯^{ていかのうぼく}」という干支です。

十干「丁火＝陰」、十二支（卯木＝陰）でセットになっています。

六十干支の 3 番の「丙^陽」と 4 番の「丁^陰」の 陽と陰は対等であるとして、結びついてつくられています。

「丙」と「丁」の陽と陰は対等である

☞ どのような意味で対等なのか？

私たちが生存している世界は……、

「空間だけでは存在できない」

「時間だけでも存在できない」

それを陰陽にたとえて、陰があつてこそ、陽があり、
陽があつてこそ、陰があるとしたのです。

その意味で対等だと考えました。

「空間だけでは存在できない」

「時間だけでも存在できない」

ゆえに「甲」と「乙」は対等である。

☞ お気づきのように、

1 番の「甲」は「陽の干」です。

（子）は（陽の十二支）です。

「甲子」という干支は「陽干」と（陽支）の組み
合わせになっています。

2 番の「乙」は「陰の干」です。

（丑）は（陰の十二支）です。

つまり「乙丑」という干支は「陰干」と（陰支）
の組み合わせになっています。

「六十干支」はすべて

「陽干」と（陽支）

「陰干」と（陰支）

この組み合わせで、干支^{かんし}がつくられています。

🔍参照⇒【初年】 9 回目 【六十干支】

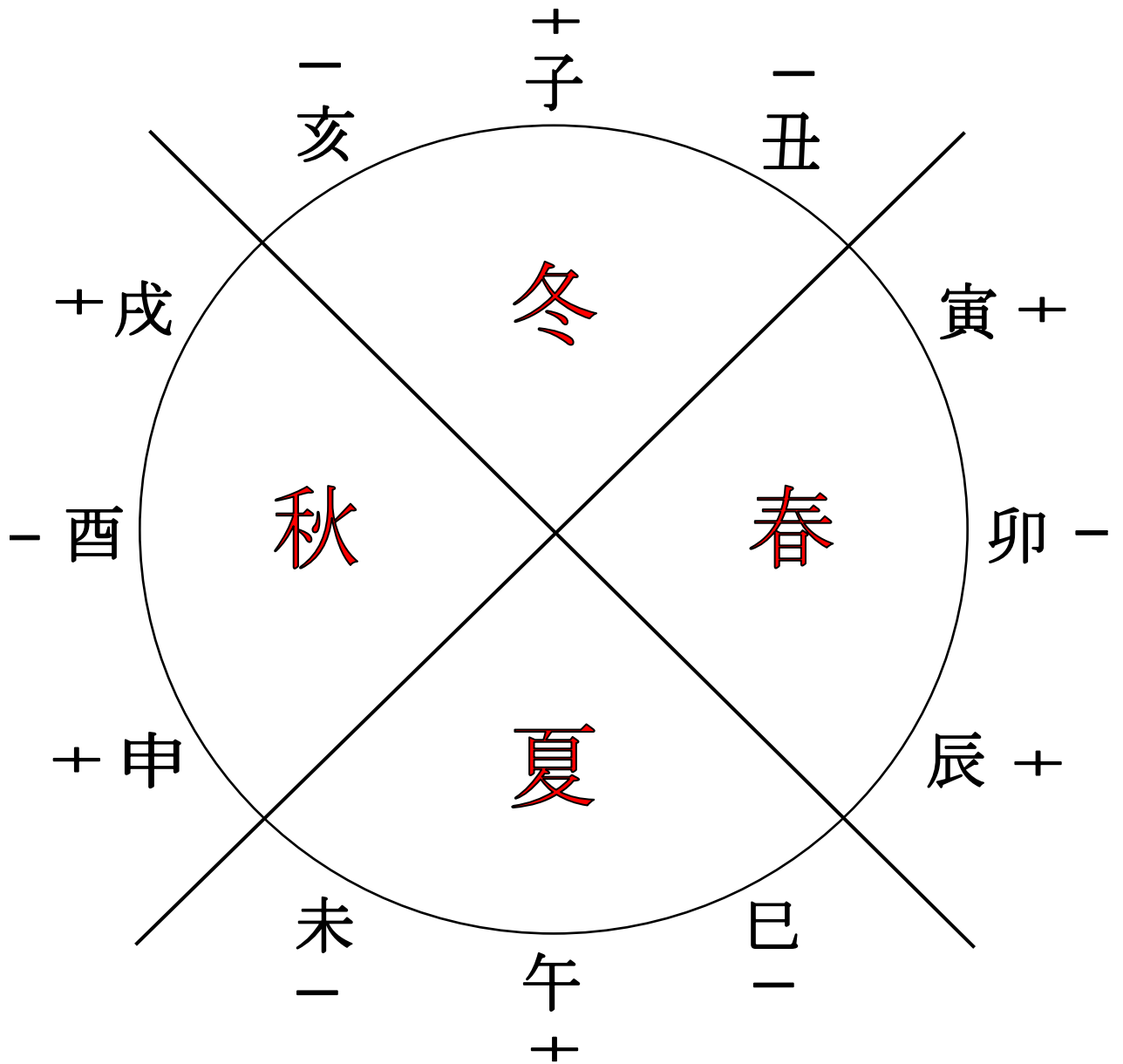
十二支は ^陽（子＝陽） ^陰（丑＝陰） ^陽（寅＝陽） ^陰（卯＝陰）

このように（＋）（－）（＋）（－）という順番で続いています。

つぎのページ【十二支と陰陽】図 B を参照ください。➡

宿命（6）十二支盤

【十二支と陰陽】 図B



図B じゅうにしばん 十二支盤 には（季節と十二支）そして（陰陽）が配置されています。

「甲」という「空間」だけでは存在できない。

(子)という(時間)だけでも存在できない。

それゆえ「甲」と(子)は対等である。

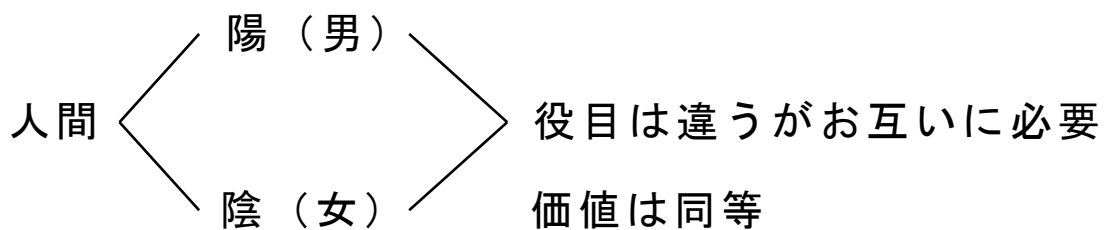
「天を陽」としたとき十干「甲」は上になり
(地を陰)としたとき地支(子)は下になり } 自然の姿

人間でいえば「男を陽」「女を陰」としてはいますが、どちらか一方だけでは存続できないということです。

役目の違いはありますが、お互いに必要です。

その意味で価値は同等だとしています。

男と女の役目は異なりますが価値は同等です。



「十干」と(十二支)も役目は違います。

価値は同等です。

そうでないと、この世に存在できないと考えています。

そこで……十干（10 個の記号）と十二支（12 個の記号）を対等と考えて、結びつけていくと、十二支のほうは必ず 2 つ余ってしまいます。

そうなると、「空間」と（時間）は対等であるとする考え方は成り立たないことになります。

陽と陰は対等だとする考えのなかで、十二支（陰）に対して、十干（陽）のほうは、2 つの記号を重複してつかっています。

この場合につかわれている記号は「甲」と「乙」ですから、空間と時間は対等であるとする考えは成り立たないことになります。

「甲木」と「乙木」にとっては、一人二役をこなしていることになります。

この部分は不自然な結びつき、不自然融合ふしぜんゆうごうが存在するとして、その部分は『ひずみ』ができますから、その部分には「天中殺」があるとしたのです。

『ひずみ』⇒自動車のハンドルには『遊びの領域』が必要です。

宿命（7）自然な結びつき

☞ 干支番号「甲子1」～「丙子13」まで書きました。

自然な結びつき

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子

↓
天中殺

天中殺範囲（不自然融合・ひずみ）

天中殺範囲はあまった十二支の（戌亥）のところでは。

この「十干」と（十二支）の連続性を見てわかるように、「甲子1」から「癸酉10」までは、自然（整然）な結びつきです。

（戌と亥）は不自然な結びつき、ということになります。

🔍 19頁 宿命（8）六十干支表 20頁 宿命（9）六十干支表

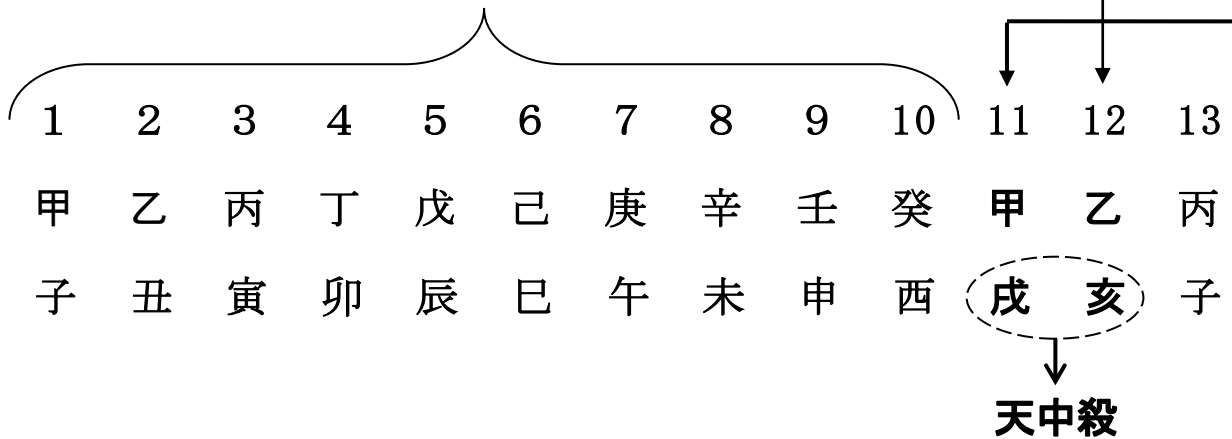
「六十干支表」における『天中殺範囲の見方』を書きました。参考にしてください。

宿命 (8) 六十干支表

六十干支表

壬	子	49	庚	子	37	戊	子	25	丙	子	13	甲	子	1
癸	丑	50	辛	丑	38	己	丑	26	丁	丑	14	乙	丑	2
甲	寅	51	壬	寅	39	庚	寅	27	戊	寅	15	丙	寅	3
乙	卯	52	癸	卯	40	辛	卯	28	己	卯	16	丁	卯	4
丙	辰	53	甲	辰	41	壬	辰	29	庚	辰	17	戊	辰	5
丁	巳	54	乙	巳	42	癸	巳	30	辛	巳	18	己	巳	6
戊	午	55	丙	午	43	甲	午	31	壬	午	19	庚	午	7
己	未	56	丁	未	44	乙	未	32	癸	未	20	辛	未	8
庚	申	57	戊	申	45	丙	申	33	甲	申	21	壬	申	9
辛	酉	58	己	酉	46	丁	酉	34	乙	酉	22	癸	酉	10
壬	戌	59	庚	戌	47	戊	戌	35	丙	戌	23	甲	戌	11
癸	亥	60	辛	亥	48	己	亥	36	丁	亥	24	乙	亥	12
水行			金行			土行			火行			木行		

自然な結びつき 戌亥天中殺範囲



天中殺範囲 (不自然融合・ひずみ)

天中殺範囲はあまった十二支の(戌亥)です。

宿命 (9) 不自然融合

自然な結びつき 戌亥天中殺範囲

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

天中殺

自然な結びつき 申酉天中殺範囲

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉

天中殺

自然な結びつき 午未天中殺範囲

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未

天中殺

宿命 (10) 不自然融合

自然な結びつき 辰巳天中殺範囲

31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳

天中殺

自然な結びつき 寅卯天中殺範囲

41	42	43	44	45	46	47	48	48	50	51	52
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯

天中殺

自然な結びつき 子丑天中殺範囲

51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	干支番号	
										1	2
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙
寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑

天中殺

〔たとえば〕 日干支「癸未 20」の人がいたとします。

日干支
20

宿命（1 1）日干支・癸未

癸 ○ ○

未 ○ ○

日干支「癸未」は本人の場所です。

本人がこの世に生まれてきたのは、自然な部分であると考えています。

この世に誕生したのは自然なことから「日干支」は自分自身で自然だと考えています。

この世に誕生できたのは、自然なことである。

それゆえ「日干支」は自分であり自然である。

日干支が「^{きすいのひつじど}癸 未」干支番号 20 の人は、「六十干支」のなかでは（申と酉）の範囲が不自然融合になります。それを「申酉天中殺」と名付けました。

天中殺を具体的にいいますと、天中殺とは〔不自然〕・〔不整然〕で、消滅をあらわして、死さえもあります。

その意味で^{きび}厳しいです。 具体的〔実体的・個別的なさま〕天中殺は、不自然・不整然で、消滅を現し、死さえある。

参考・具体的〔実体的・個別的なさま〕

“天中殺の過ごし方”として——どのように過ごせばよいのかです。

天中殺になったから運勢のすべてが^お墮ちてしまうと考えることです。

天中殺で大成功する人は多いのです。

野球の「野茂投手」は20年間の^{たいうんてんちゅうさつ}大運天中殺で、米国の大リーガーへ移籍して一時期はとても運勢が伸びました。反対に……とても運勢が^お墮ちる人もいます。

天中殺の占学用語で「不自然融合（対等でない干支の結びつきから生まれた）」という意味があります。

つまり、天中殺のときは自分にとっての不自然・不完全ですから、予期しない異常現象が起きます。

天中殺のときは自分にとって不自然・不完全な状況なので、予期しない異常現象が起きる。

天中殺のときに、なにか新しい物事をはじめると——
天中殺現象が起きるということです。

すでに自分の宿命にもっている「宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺」があり
ますし、後天的^{こうてんてき}にまわって来る天中殺もあるわけです。
「宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺」も後天的な天中殺も、基本的な意味合い
は変わりません。しかしその内容は異なります。

⇒ 算命学で天中殺を説明するとき、つぎのように
表現する場合があります。

天中殺は「運勢が寝ているときです」といいます。

運勢を「静」と「動」でいえば「運勢が毎年、毎年、目覚
めていることもない」「運勢は1年中目覚めていることはな
い」このように考えているのです。

「天中殺は運勢が休止しているとき」です。

参考：目覚め〔いままでひそんでいた本能・意識が働き始めること〕

参考：休止〔一時休むこと〕

人間にしても、1日のなかで「昼は活動して、夜は静
かに眠る」という状態があります。

「休む・眠る」そのような状態が運勢のうえでも起こ
ります。

そういう状態のときは、〔運勢が寝ているときである〕
〔運勢が休んでいるときである〕それが天中殺である。
としたのです。つまり運勢が寝ています。

参考：寝る〔休養のため眠る〕

そうしますと、運勢が眠っているような状態のときに、
なにか物事を起こしても……それはまるで夢のなか
で物事を起こしたのとおなじなわけです。

「夢から覚めれば、その現象も終わりになります」

「夢が覚めれば、壊れてしまいます」と、そのように
表現しています。

天中殺にどんな現象が起こるかといえは、さまざまな
現象が起きますので……端的にこれだと決めつける
ことはできません。

いくつかを^{れっきよ}列挙します。

参考：表現〔内面的・精神的なものを外面的・感性的にあらわす〕

参考：端的〔まのあたりに明白なさま〕

参考：現象〔観察されうるあらゆる事実〕

☞ [たとえば] 天中殺で結婚したとします。

「その結婚の姿が不完全で異常な現象になりますよ」といえます。

どのような現象になるのかということで……いくつか考えますと「離婚」も起こります。

離婚

天中殺で始めたことは、完全に果すことはできないわけです。[まっとうすることはできない]と考えるのが定法です。

[天中殺で始めたことは全^{まっとう}うすることはできない]という意味からして、夫婦が婚姻^{こんいん}を解消することになるともいえます。

あるいは、生き別れ、死別という状況もあります。

[このことは、相手が死んでも、自分が死んでも、結婚を成し遂げることを出来なかったという意味からです]

参考・全^{まっとう}う [最後までなしとげる。見事に成し遂げる]

子供

天中殺の現象が子供に出ることがあります。

結婚する大きな要因のひとつとして、自分たちの未来を子供・子孫へ繋^{つな}げることです。

それゆえ、結婚すれば子供が誕生する話が横たわって

います。

天中殺の ^{わざわい}禍 が子供にでるということがあります。

〔たとえば〕「子供が生まれない」ということもそのひとつです。

算命学は子供が生まれないというのは、不完全な結婚と位置づけています。

あるいは「子供は丈夫に育ちました。でも、子供はみんな出て行ってしまった」ということも起ります。

この意味は『子供たちは、親に関係なく生きて行く』ということなのです。

しかし、昨今は昔とは異なり、長男が必ずしも家を継ぐとか、親の面倒を看るとかではではないわけです。

それゆえ——宿命を観て判断します。

「子供の育ちが悪い」ということもあります。

端的にいえば、一人前に ^{いちにんまえ}育たないということなのです。

これはかなり多いです。(正常な成人に育たない)

それが精神的にできれば非行に走ります。登校拒否も入ります。登校拒否は精神的な欠陥と考えています。

つまり、社会生活に適応できないことであり、一人前になれないという現象なわけです。

自殺は精神病と位置づけています。

あるいは、肉体に ^{わざわい} 禍 が出れば、身障者、病弱ということも考えられます。

☞ これから申し上げる表現が適切とはいえませんが……、
算命学の勉強という意味で考えて頂きたいのです。

世の中の役に立たない子供が生まれるということは、結婚としては不完全な状態、不自然な姿であるとして、^{ぜんき}前記したようなことがいえるわけです。

あるいは、「子供が死ぬ」という話もあります。

これはあくまでも天中殺に関しての勉強の話です。

天中殺にはこのような現象が起きる可能性があります。ということなのです。

「子供が死んでもいい」と言っているのではありません。
誤解をしないでくださいね。

夫婦のどちらかが病弱

夫婦のどちらかが病弱、これは両方ということもあります。病弱だけではなくて、^{けが}怪我也含まれます。事故などで半身付随になってしまった。ということもあり得るわけです。そのようになると〔夫としての役目〕〔妻としての役目〕〔親としての役目〕を果たせないということも起こるわけです。

夫婦の別居状態

夫婦の別居状態は、単身赴任、遠洋漁業で夫がいない状態です。

これは仲のよい夫婦でも、仲が悪い夫婦であっても、単身赴任の状態は別居状態であると考えてください。

不倫

不倫というのは、夫婦としての入籍をしていますが、自分の夫や妻より、もっと好きな人がいるということのことです。結婚した相手より、もっと好きな人がほかにいるということです。

「たまたま浮気した」というのは入っていません。その回数はわかりませんが、度重なるという場合は、不倫に入ると考えています。

不倫はなにかしらの不満に起因していると考えています。

夫婦仲が悪い

夫婦仲が悪いというのは、たまに夫婦喧嘩するという話ではありません。たまに夫婦喧嘩するのは、刺激があってよいかもしれません。

そして、いつも仲がよいという夫婦がいても、それは

本当に仲がよいのかどうかわかりません。

〔たとえば〕10年も一緒にいるけど、一度も喧嘩しないとか、1度も言い争いもしていないというのは、仲が悪い証拠と考えています。

そこには、お互いのあいだに“言い争えない”なにかが介在していると考えられます。

「夫婦仲が悪い」という意味には、〔離婚すればいいのに……〕と思えるくらい仲が悪くて、お互いに口も利かない夫婦もいます。

それでいて離婚しない夫婦の状況も入ります。

あるいは、仲がすごく悪くて、すでに夫婦関係が成り立っていない夫婦も入ります。

経済的に苦しい

これは普通に働いていて、ややお金が足りないという話ではありません。

仕事がうまくいかないために収入が非常に少なく、家族の生活がとても苦しく、なにかしらの補助を受けているとかの状態です。

☞ いくつかの状況を記載しましたが、上記以外にもさまざまな問題が存在するでしょう。

〔たとえば〕天中殺で結婚して、夫婦のあいだに子供が育って来たという場合は、家から早く出すことです。子供が社会人になったら直ぐに出すのです。

そうしないと、夫婦関係か子供のどちらかに問題がでてきます。

これは夫婦二人がともに天中殺の場合と、夫婦の片方だけが天中殺の場合もあります。夫婦がおなじ天中殺をもつ場合を「どういつちゅうさつ同一中殺」といいます。

〔たとえば〕夫婦ともに子丑天中殺であれば「同一中殺」になります。「同一中殺」の二人が自分たちの天中殺である子丑天中殺のときに結婚した場合には、天中殺の影響が強くなります。

夫婦というのは、お互いに『気』を交換し合う関係、つまり、夫婦は一体になっていると考えています。それゆえ、夫婦の場合は、一方が天中殺になっていれば、必ず、相手もその影響を受けます。

〔たとえば〕天中殺で結婚して、夫が成功しているという場合、夫の運勢ではなく、妻の運勢で成功していることも起こります。政治家は多いです。

妻のチカラで大臣になった人は多いです。

天中殺は悪い事象だけでなく、よい事象も起ります。

ここまで天中殺の現象を全て書いたわけではありません。
天中殺で結婚をすると、記載した事象を含めて、さまざまな現象をだすようになります。

〔たとえば〕天中殺で結婚して夫婦のあいだにできた子供が育って来たという場合は、家から早く出すことですよ。
と書きましたが……子供が出て行くのなら、出て行かせるほうが無難です。

天中殺のときは、このような現象が出やすいのです。

〔物事を完成させよう〕〔成し遂げよう〕としないことです。
それが無難です。

“天中殺の影響が見えていない”ということもあります。
そのような場合は子供に出ます。

結婚生活が不幸だからといって、離婚すればよいとは限りません。ともうしますのは〔2人のあいだに子供ができなかった(いなかったとか)〕〔子供が出て行ってしまった〕とか〔子供が死んでしまった〕とかの場合には、天中殺がもつ意味合いが相当に減少します。
子供がいない夫婦なら、それは不完全な状態の結婚として位置づけれます。天中殺の現象は軽減されます。

あるいは、商社マンとかで、単身赴任の状態などが長期間つくられている場合は、天中殺が減少されます。その意味では非常に助かっています。それゆえ、必ず現象がでるとは限りません。

⇒ 個々の運勢を観なくては……いつ天中殺の現象が出るのかということがわかりません。

「一生なにも起こらなかった」というのは、ほとんどないと思えますが、そのときは子供がやります。そういう場合、子供の運勢だけでは、どうしても理解できないのです。

つまり、子供の宿命を観ただけでは絶対にわからないといえます。親の宿命を観ないとわからないのです。

⇒ 算命学の占いは「集団を占う」占いです。

〔たとえば〕依頼者が何人もの資料（10人とか）を鑑定側に提示して、「これらは結婚相手の生年月日です。このなかで自分との相性がよい人、自分と運勢的にも一緒に将来を歩んで行ける人はどの人でしょうか？」と訊かれても、答えをだすことができます。

あるいは「このなかで、社長としてどの人物が相応しいでしょう」とか、集団の人数に関係なく占うことができます。

☞ 鑑定の際に、鑑定依頼者の両親の宿命、兄弟の宿命、それらがわかれば、必ず知る必要があります。そのためには、鑑定依頼者の話をよく聞かなくてははいけません。そうしないと、どのような生き方をしているのかわからないのです。お訊きしてください。

鑑定する側の人の中には「依頼人に訊くのが嫌」という人もいますが、算命学の占いは、そのような程度の軽い話ではありませんので、依頼者の話には、必ず、耳を傾けてください。ご不明な部分あれば、鑑定者が依頼者にお訊きしてください。

☞ 天中殺が仕事におよぼす影響を考えます。

天中殺の影響で「出世するのは難しい・できない」ということも起こりますが、出世しなければ、その仕事を長く続けられます。

出世することもあります——出世すると仕事を長く続けることができない現象が起こります。本人に力量があっても出世しない状況がつくられてしまいます。とうぜん不満は蓄積するでしょう。

出世しなければ、仕事・会社を辞めなくて済みます。

つまり出世したときには“辞める”というなんらかの原因が起こります。

〔たとえば〕「本人が病気になって辞める」あるいは「不祥事に巻き込まれて辞める」とかで、会社を辞めなければならなくなる。あるいは一方的に解雇される。そのような状況が起こります。

☞ 天中殺のときになにか仕事をする。会社に勤める。それをして構いません。それには条件があります。

〔その仕事を成し遂げようとする〕とか〔その会社に長く勤めようとする〕その気持ちが無いのなら、天中殺で物事を始めても構いません。という話もあるにはあるのですが、このやり方はお勧めではありません。

そうしますと、天中殺のときに始めるとかであれば、ちょっとのあいだパートタイムで働きに行く程度という話になります。

それでも天中殺の現象は出ますけど、大した影響はないといえます。しかし、“危険な仕事は駄目”です。パートであっても、生命に危険を及ぼす内容の仕事は絶対にだめです。天中殺は「夢のなかの出来事」です。それゆえ、なにが起こるのかわからないからです。

⇒ 「人生で一生やり続けて行かなければならない」

そういう事象じしょうもあります。参考：事象 [いろいろな物事や現象]

〔たとえば〕家を新築・改築して、そこに一生居住いっしょうきょじゅうしようとおもうのであれば、天中殺のときに新築・改築をしてはいけません。

家を購入する場合は、契約したとき、つまり登記するということは自分の物（財産）になるわけです。

転居（引越し）は、自分がそこに住むということです。このどちらも駄目です。

「自分名義で登記するのではない」というのであれば、そこに居住する人物の天中殺を避けることです。

〔たとえば〕家族が5人の場合は、5人の名義で購入することはありませんから、実際に買う人物の天中殺が関係します。実際に家を買う人物が天中殺のときはダメです。購入するときは、夫の名義あるいは夫婦の名義とかで買うわけです。〔夫の財産〕または〔夫婦の財産〕になりますから、天中殺はとうぜん影響します。

買うことに一切無関係であれば別です。

つまり〔家を購入する〕ことと、〔そこに住む〕ということは別ですから、2つに分けて考えなければ駄目なのです。

引っ越しするときは、引っ越しする事実に関係します。当然そこに住む人物が関係することになります。それゆえ、引っ越し（転居）でも、天中殺で引っ越ししてしまったとしたら、天中殺が終わるまで住んで、天中殺が終わってから、もう一度引っ越せばよいです。つまり、天中殺のことを知らないで〔天中殺で引っ越した事実が^{あと}後でわかった場合〕……また^{あわ}慌ててしまって、まだ天中殺が終わっていない時期に、引っ越したら、天中殺で2度引っ越したことになりますから、^{わざわい}禍をを広げてしまうことになります。そうなると、2回目に引っ越した居住先で問題が大きくなります。

☞ 天中殺には「20年間の^{たいうんてんちゅうさつ}大運天中殺」があります。

「陰と陽で2年間の^{ねんてんちゅうさつ}年天中殺」

「1年に2ヶ月ある^{つき}月の天中殺」

「1ヶ月のなかにも、天中殺の^ひ日があります」

人生に関わるような大きな物事であれば、「月の天中殺」も「日の天中殺」も^{あなど}侮ってはいけません。避けるべきです。

〔たとえば〕^{いま}現在は職場と寝るところがおなじです。狭いので寝る住居だけ、ほかへ移したいという場合も、天中殺の考え方はおなじです。

天中殺の時期であっても、そこに出る現象はいろいろです。「天中殺で引っ越しました」といっても、そこにでる現象はさまざまです。

それらの現象は、星を観ればわかるようになります。

〔たとえば〕その引越しで、子供に禍いとなつてでるとか、財産にでるとか、家を失うとか、それらのことも含まれます。

それは星を観ることでわかるようになります。

星は「陰占＝干支」と「陽占＝人体図」で観ます。

☞ 天中殺の過ごし方

天中殺のあいだの過ごし方ですが、天中殺というのは「まるで眠っているようだ」と書きました。

“運勢”も休むときがあります。

天中殺の期間は“運勢”も休む必要があります。

人間も十分に働くためには、休養を取るとか、眠らなければなりません。

天中殺の期間は『休む』という状態で過ごせばよいわけです。休養状態がよいのです。

天中殺は「運勢が寝ている」わけです。

能動的（陽）と 受動的（陰）に分けたら、天中殺のあいだは受動的に生きたほうがよいのです。

天中殺のあいだは「受動的」に生きたほうがよい。

運勢は休養しているのに、本人は活発に動いてしまうことがあります。天中殺で活発に動けば動くほど、

^{わざわい}禍が大きくなって出てきます。禍が膨張します。

何故かといえば……運勢は眠っている状態であるのに、気持ちや肉体が走っているような状況ですから、運勢は十分に休養を取れないのです。

運勢は寝ている状態ですから、天中殺のときは通常の時より^{つか}疲れます。

精神も肉体も疲れますから、受け身で生きるのが最良の方法です。^{わざわい}禍が起きても最小限にとどまります。

“受け身”というのは「新しいことをはじめない」という意味も含みます。

新しいことを始めるのは、積極的だと考えています。

これはとても難しいことです。

☞「受け身」について辞書を^{いんよう}引用しました。40 頁に記載しました。

「受け身に^{てっ}徹した生き方」をしていれば、天中殺の
禍^{わざわい}はまったく出ないと考えています。

それはそうなのですが……受け身で生きるというのは
むずかしいのです。

『眼に見えず、感知できない^{よそうがい}予想外の^{きか}奇禍を未然にふせぐ
最適な方法』が「受け身に徹した生き方」といえます。

そこで「受け身」について個々の単語を辞書に照らし合
わせて考えるのも方法です。 参考：徹する〔つらぬきとおす〕

①参考：受身〔自分から積極的に出ないで、他から働きかけられること〕

〔消極的なさま。受動的〕 日国

②参考：受動〔他からの働きかけを受けること。受身〕

③参考：受動的〔他からの働きかけを受ける様子・受身であるさま〕

④参考：消極的〔進んで行為をしようとはしないさま。ひっこみがち〕

⑤参考：ひっこみがち〔家にこもって、ほとんど外へ出ないさま〕 日国

〔進んで事にあたる意気のとぼしいさま〕

参考：能動〔積極的にほかに働きかけること〕

〔他からの働きかけを待たずに自ら活動すること〕

参考：能動的〔自分から他にはたらきかけるさま〕

参考：積極的〔進んでことをしようとするさま〕

参考：困難〔実行したり解決したりすることが難しいこと〕

参考：奇禍〔思いがけない災難〕

参考：行為〔ある意思をもってする個人的は行い〕

著者が通学した算命学の授業では「受け身に徹した生き方」と表現していました。

「受け身」という考え方はさまざまな解釈ができます。

辞書を引用して〔能動的・受動的〕〔積極的・消極的〕などの言葉を対比させました。

ここでは天中殺の「受け身に徹した生き方」が主題です。言葉を対比させることで、意味合いをとらえることができるのではと考えまして辞書を引用しました。

「受け身に徹した生き方」⇒〔引っ込みがち〕とは違います。

☞ ①②③について考えます。

①〔自分から積極的に出ない〕ここまです。

②〔他からの働きかけを受けること。受身〕

☞ なんでもかんでも受けてよいとはいえません。

判断がつかない事象は鑑定を受けるとよいでしょう。

③〔他からの働きかけを受ける様子・受身であるさま〕

☞ なんでもかんでも受けてよいとはいえません。

判断がつかない事象は鑑定を受けるとよいでしょう。

☞ このように「状況判断がとても困難」といえます。

⇒ 積極的・能動的の意味について。

〔たとえば〕会社に勤めているあいだに、天中殺の年としもまわって来ることもあるでしょう。天中殺のときに会社から、山田さんに転勤命令が出たとします。

（山田さんは天中殺の知識をもっていますから、自分は現在天中殺の時期に入っていることを知っています。）山田さんは会社の命令に従って転勤するのかどうかです。山田さんは会社の転勤命令に従いましたから、自分の意思を出していません。受け身の姿です。

「天中殺は受け身で過ごしなさい」これが基本ですから、転勤することが受け身の姿になります。会社から転勤命令が下りたのに、天中殺だからということ
で転勤を断わると、自分の意思を出したことになる
ます。それは積極的な行為だと考えます。
自分の意思を出す。という意味の積極性です。

天中殺だから〔これもしない〕〔あれもしない〕——
というのも個人の意思です。

自分の意思を出さないで、現在いままでの状況、それまでの状態を維持することが、1番の受け身の姿と考えています。つまり、なにか新しいことをはじめることなく、いままでどおりの生活が受け身の姿です。

しかし、実際の話として……天中殺に入ると、仕事のこと、あるいは対人関係とかで面白くない状況が出てきて、会社を辞めたくなくなるとか、そのような気持ちにおちい陥ることもあるでしょう。

そのときに仕事を辞めてしまうと、自分の意志で辞めたわけですから、現在までの状況・状態を維持していることにはならないのです。受け身ではありません。

自分の意思で仕事を辞めるのは、現在までの状態を維持するのではなくて能動的と考えます。

「天中殺のとき…」あるいは「なっちゃん納音のとき…」というのは、不思議なのですが、正常な意識を維持できないことが起こります。当たり前を考えられることが、当たり前を考えることができない状態に陥ることは多々あります。

「なんであのとき、こうしていればよかったのに」という状態になってしまうのです。

わたくしも経験しています。封筒に入れた 75 万円をほかのゴミと一緒に可燃ゴミの袋に入れて捨ててしまったことがあります。

ふつうの考え方、正常な判断ができなくなるのです。

これも天中殺あるいは納音（正反対）の怖さといえるでしょう。

天中殺で「新しい事をはじめてはダメです」といいました。

自分の意思で『辞める』ということは、新しいことをはじめたことになります。

天中殺で新しい物事を始めると『^{わざわい}禍になる』と考えています。

⇒ そこで、父親が築いた大塚家具はどうでしょう。

長女の久美子さんの代で、大塚家具が^{はたん}破綻に追い込まれました。 ➡

✽ 大塚 勝久 1943-4-27

大運は 8 歳運の逆まわり

	乙 丙 癸		龍高星	天印星	8 乙卯
子	卯 辰 未		貫索星	司祿星	18 甲寅
丑	乙 丁		天祿星	調舒星	28 癸丑
	癸 乙				38 壬子
	乙 戊 己				48 辛亥
					58 庚戌
					68 己酉

大運天中殺

✽ 大塚久美子 1968-2-26

大運は 8 歳運の逆まわり

	丙 甲 戊		鳳閣星	天胡星	8 癸丑
戌	寅 寅 申		龍高星	龍高星	18 壬子
亥	戊 戊 戊		天貴星	龍高星	28 辛亥
	丙 丙 壬				38 庚戌
	甲 甲 庚				48 己酉
					58 戊申
					68 丁未

大運天中殺

大塚家具の^{すいたい}衰退には、創業者の宿命、久美子さんの宿命が大きく関わっていますが、ここでは天中殺に^{しょうてん}焦点を絞って^{しば}あらましを書きます。天中殺の^{げんしょう}現証のひとつとして事業が成功することがあります。しかし反作用は必ずでます。

- ・ 大塚家具・創業者の大塚勝久さんは父親ですが、〔28 歳〕
ら 20 年間は大運天中殺がまわっています。
- ・ 長女の久美子さん〔28 歳～48 歳〕まで大運天中殺です。

1994「甲戌」久美子が大塚家具入社〔勝久 51 歳〕〔久美子 26 歳〕

久美子さんは大運天中殺で入社しています。

2009「己丑」〔勝久 66 歳〕〔久美子 41 歳〕のときに、久美子さんが
社長に就任しました。このときも大運天中殺中です。

2015「乙未」 3 月 27 日の株主総会で久美子が勝利して社長に再任
される。〔勝久 71 歳〕〔久美子 47 歳〕

父親の勝久さんは、大運天中殺に入る前の〔26 歳〕のときに
会社を創業し、勝久さんの宿命に即した高級路線を掲げ、
大運天中殺に入って業績を大きく伸ばし、〔37 歳〕のときに
上場しています。天中殺は飛躍的に業績が伸びるということ
とは起こります。しかし、その反作用は必ずやって来ます。

1994「甲戌」の^{とし}年は長女・久美子さん天中殺の年です。

その年に父の会社に入社していますから、親の跡を継いだ
わけです。久美子さんが入社したのも、社長に就任したの
も大運天中殺のときです。

会社を受け継ぐ、社長になるということは、当然の職務と

して業績を伸ばす責務を背負うことなるわけです。

それを期待して、父親が久美子さんを社長に推したわけ
です。しかし、彼女のすべての出発点为天中殺です。

「天中殺で始めたことをまっとうすることはできない」と
いうのが算命学の定法です。

久美子さんでいえば、[業績を伸ばすことはできない]とか
[社長としてとどまることはできない]そのような状況が
起こります。

それゆえに、天中殺で自分の一生を左右するような物事を
はじめてはいけないわけです。

天中殺は受け身で過ごすことです。

これが難しいです。

てんちゆうさつ ふしぜんゆうごう
天中殺は不自然融合です。

参考：不自然 [自然でないこと。わざとらしいこと]

[自然に反してやったために、ぎこちなく見える様子]

参考：融合 [複数のものがとけあって一体になること]

[とけて1つになること] [異なるものが一つに溶け合うこと]

☞ 佐世保女子高生殺害事件。2014年7月26日に起きた。

殺人犯『徳勝もなみ』の父親は佐世保で著名な弁護士でしたが事件後に自殺しています。〔53歳他界〕

	戊	癸	辛		調舒星	天印星	4 壬辰
寅	申	巳	丑	貫索星	鳳閣星	調舒星	大運天中殺 14 辛卯
卯	戊	戊	癸	天胡星	鳳閣星	調舒星	24 庚寅
	辛	庚	辛				34 己丑
	庚	丙	己				44 戊子

父親（徳勝仁）が弁護士登録したのは自身の大運天中殺中
です。

※ ^{ささい よしき} 笹井 芳樹 1962-3-5 2014-8-5 [55 歳没]

2014 年 1 月 28 日末に多様性ともつ細胞 (STAP 細胞) を作出したとして『Nature』に論文報告したと発表。

その会見に笹井も同席。その成果を強調したが、その論文の内容がはっきりしないとする議論が生じ始める。

笹井は同僚にも STAP 研究への参加を呼びかけたが、致命的は不明点が発覚し、研究予算の使途などの責任も問われるようになった。

2014 年 8 月 5 日首つり状態になった状態で発見される。

	壬	壬	壬		貫索星	天胡星		1 癸卯
辰	寅	寅	寅	鳳閣星	鳳閣星	鳳閣星	大運 天中殺	11 甲辰
巳	戊	戊	戊	天胡星	龍高星	天胡星		21 乙巳
	丙	丙	丙					31 丙午
	甲	甲	甲					41 丁未
								51 戊申

笹井氏は優秀な研究者であったわけですが [11 歳~31 歳] までの 20 年間は大運天中殺でした。

その大運天中殺で研究者として出発しています。

＊ 本田博俊^{ひろとし} 1942-4-11 (本田宗一郎の長男)

甲	甲	壬		龍高星	天極星	9 乙巳
辰	午	辰	午	司祿星	石門星	19 丙午
巳		乙		天極星	貫索星	29 丁未
	己	癸	己			39 戊申
	丁	戊	丁			49 己酉
						59 庚戌
						69 辛亥

1973 年『無限』を創設〔本田博俊 31 歳〕

脱税総額（60 億円）で逮捕された。

さまざまな問題が多技にわたって存在しますが、詳細説明は省きます。

本田宗一郎記念館を創設するために脱税したと語っているようですが真意は不明です。

本田宗一郎はホンダ創立 25 周年ということで、共同経営者と一緒に退社しています。

この人物は異常性の宿命です。

税務署が動きだしたのは、2000 年「庚辰」ですから、博俊の天中殺の年です。

2000 年「庚辰」4 月 11 日から〔58 歳〕で天中殺です。

運勢が急激に墜ちていきます。

🌀 「大運天中殺」について。

20年間の大運天中殺があります。

〔たとえば〕15歳から20年間の大運天中殺に入った。
ということは、20年の期間中には、結婚や仕事とい
う大きな問題が存在します。

では、どうしたらよいのかということになります。

❖ 結婚でいえば、積極的な結婚をしないことです。
自分からその人と結婚したいというよりも、相手から
求められる結婚のほうがよいです。
見合い結婚でも、恋愛結婚でもおなじです。
恋愛結婚の場合でも、相手から好かれて（求められて）
結婚するほうが無難です。しかし「天中殺で結婚した」
その事実を変更することはできません。

❖ 仕事の場合は替^かえてもよいです。
大運天中殺がわかっていれば、その期間中は好きでな
い仕事であっても、その仕事をすればよいのです。
つまり、自分の一生を左右しない腰掛け仕事です。
そして天中殺が終わってから、自分が求めている職業
に就くほうが、やり甲斐も出てきて充実します。

⇒ 「天中殺の格言」 2つあります。

① 昨日とおなじことをしなさい。

受け身というのは、新しいことを始めないことです。

昨日とおなじこと、現在^{いま}までとおなじ状態を維持することです。

天中殺に入ったからといって……急におとなしくすることも駄目です。「今まで張り切り過ぎたから、天中殺に入ったのでおとなしくする」これは積極的で禍になります。

「今まで働き過ぎたので、天中殺に入って禍^{わざわい}が出そうだから、働くのを止める」これも問題です。

そして「現在^{いま}まで^さ冴えなかったから、天中殺で辞めよう」これも駄目です。

② 天中殺の期間中は勉強しなさい。

「天中殺は眠っているようなもの」といいました。

“休む”これはエネルギーを補充しているのです。

勉強するということは、知恵を補充していることになります。学問・勉強は受け入れてください。

エネルギーを補充している期間の勉強はとてもよいことだと考えています。勉強はよいのです。

なにかを学んで身に付けること自体禍^{わざわい}になりません。しかし、学んだ事柄を発揮する時期が問題です。

天中殺で勉強したものは禍わざわいになりませんが、学んだことを「何時いつ出す」「いついつ発揮はっきする」それが問題です。会社内で技術の習得もあるでしょうが、それを天中殺のあいだに出してはいけません。

学んで習得したことを出すのは、天中殺が終わってからです。(ここの判断は難しいですね。会社の状況もありますから、鑑定相談したほうがよいでしょう。)

参考：発揮〔持ち前の能力や特性を、隠すところなく示すこと〕

なにかを学ぶということでは、会社内での知識や技術の習得、お稽古事もよいし、スポーツの練習に打ち込むのもよいのです。自分に入って来る知識はなんでもよいのです。天中殺の受け身にそく即しているからです。しかし、発揮には注意が必要です。

☞ 天中殺本来の意味がわかってくると、一つ一つに對しての判断ができます。(難しいところもありますよ)

〔たとえば〕天中殺で大学へ入学した人は大勢います。天中殺で入学しても構いません。なぜなら、天中殺で勉強したことは身につつきやすいのです。

ただし……その大学に入学したことは、成し遂げられないのです。

〔たとえば〕その大学に残って教授になることはできません。その学部の研究に関わることもできません。その研究に携たずさわっても結構ですが、自分のおもうように成果は期待できないでしょう。

参考：期待〔あてにして、心のなかでまち設けること。予期すること。〕

医学部に入ったら、医師資格は取るのは構いません。医師のなっても構いませんが、さまざまな問題が起こりやすいのです。(医療ミスとか……)

結果的に医師としてまっとうできないわけです。

それゆえ、医者資格をもちながら、知識を活かして作家になるとかなどの生き方のほうがよいのです。

経済学なら経済分野に進まないほうがよいのです。

☞ 天中殺で運転免許を取得しました。

職業ドライバーにならないほうが懸命です。

交通事故などが関係してくるからです。

☞ 天中殺で物事をやめたときはどうなるのか？

そのものとスッパリと縁えんが切れます。

離婚でも仕事でも、スッパリと縁が切れます。

天中殺での「再婚」はやめたほうがよいです。

仕事はおなじ分野に従事できないとと思ってください。

おなじ分野はどうしても天中殺の影響が出てきます。
その影響の程度は大小さまざまです。

ここまで「天中殺がまわって来たら……」ということ
で書きましたが、1番の注意点は大きな物事は始めな
いことです。「天中殺で大きなことは始めない」

☞ 受け身 ⇒ ①②③について考えます。参考 41 ページ

☞ すでに書きましたように、

❖ 「結婚する」「家を建てる」「一生の仕事」など、
これらは成し遂げないと困ります。

天中殺ではじめないことです。

❖ 天中殺のあいだは受け身で過ごすことです。

自ら進んで動かないということです。

気楽に楽しめるような生き方を、できるだけ心掛ける
ことです。

❖ 勉強することです。

お稽古事、学習、技術面を身に付けるとか、スポーツ
の練習をするとかは大いに結構です。

☞ 算命学の占いは、自分のほうから「占ってあげますよ……」という占いではないのです。

算命学の占いは、相手から頼まれての占いです。

なぜか——占いの影響が大き過ぎると考えています。

〔たとえば〕「天中殺はいつでしょう？」と訊かれて、それに答えるのはよいです。

その人物の大運天中殺（20年間）が〔26歳～46歳〕までとわかった場合、**46歳になる誕生日の前日まで**が大運天中殺になります。

〔7月20日〕生まれなら、〔7月19日〕までです。

このことはすでに学んだ事柄です。しかし、自分がまだ知らないことを質問された場合でも、答えたくなるのが人間です。それはダメなのです。

☞ 算命学の勉強は、頭から全部を暗記するというようなやり方ではないほうがよいです。

〔これはこうだ……〕という覚え方をしますと、あとあと融通が利かなくなります。

算命学に引き算はないのですが、必ず〔1+1=2〕とはならないのです。それゆえ〔1+1=2〕というように覚えてしまうと、固定観念的になってしまう恐れがあります。

☞ 個人それぞれの勉強の仕方・方法・進め方もありますので言い切ることはできませんが……。

〔たとえば〕貫索星・石門星は何本能とか、星がもつ質の特徴を覚えていくとよいでしょう。

十大主星・十二大従星は覚える必要がございます。

各星の特質から類推^{るいすい}して、段階を踏んで覚えていくのもよいでしょう。

そうすることで勉強がはかどるとおもいます。

参照：類推〔類似点に基づき、ほかのことを推しはかること〕

天中殺^{てんちゅうさつ}は不自然^{ふしぜん}融合^{ゆうごう}ですから、天中殺のまわっているあいだは、予想しないことが起こりやすくなります。

〔どのような現象として出てくるのか……？〕

天中殺に関する例題もでてきます。

学びを深くされていくとよいでしょう。

【初年】55回目【天中殺(1)】初めに 終わります

つぎの授業 ⇒ 【初年】56回目【天中殺論(2)】です。